



発行所 国鉄労働組合盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2013.11.10 第1463号

大会 特集号

第69回定期地方大会

組織拡大に全組合員が結集を

不公平感のない職場作りにも全力

地方本部は、第69回定期地方大会を10月11日・12日の両日盛岡市・つなぎ温泉「愛真館」で関係者約90人が参加の中で開催した。方針討論では、職場の厳しい労働実態、安全・安定輸送、岩泉線、震災被災地線区の復旧問題、組織拡大の取り組みなどで14人が発言し議論が行われた。



=大会会場の盛岡市つなぎ温泉・愛真館=

近藤・横浜議長団で進行

大会は、13時に阿部一久副委員長38人全員の出席を確認し議長が挨拶で始まり、大会が成立していることを

宣言。議長に近藤信博副議長(盛岡駅連合分会)、副議長に横浜幸徳副議長(青森施設分会)を選出し、議長団の挨拶を受けて議事に入った。最初に齋藤庄司執行委員長が地方本部を代表し挨拶(別掲)。続いて豊巻浩也平和環境境岩手県センター議長をはじめ多くの来賓(別掲)の方々から激励と連帯の祝辞の挨拶をいただいた。(東日本本部からは松井正義委員長が参加情勢報告の挨拶を受けた)



豊巻浩也平和環境境岩手県センター議長

来賓・メッセージ

【来賓】(挨拶順) 豊巻浩也平和環境境岩手県労働センター議長、刈屋秀徳社会民主党岩手県連合副幹事長、



伊藤茂岩手県交運労働協議長



松井正義日本労働組合本部執行委員長

菊池幸夫日本共産党岩手県委員会常任委員、伊藤茂岩手県交通運輸労働組合協議会副議長、小野寺正志東北労働金庫地方連合会会長、国労議員団

岩手県本部部長、来内広幸全労済岩手県本部部長、浦山正年岩手県民共済会理事、松井正義日本労働組合本部執行委員長、高嶋昭一鉄道退職者の会盛岡地方連合会会長、国労議員団

【メッセージ】(順不動) 全日本運輸産業労働組合岩手県連合会、全国交運共済生協岩手県本部東北支所、国労地方本部関係(秋田・仙台・水戸・高崎・新潟・東京・長野・千葉)

【メッセージ】(順不動) 全日本運輸産業労働組合岩手県連合会、全国交運共済生協岩手県本部東北支所、国労地方本部関係(秋田・仙台・水戸・高崎・新潟・東京・長野・千葉)

【メッセージ】(順不動) 全日本運輸産業労働組合岩手県連合会、全国交運共済生協岩手県本部東北支所、国労地方本部関係(秋田・仙台・水戸・高崎・新潟・東京・長野・千葉)

小澤万寿男選挙管理委員長(釜石地域分会)から地方役員、地方委員の告示が提案され1日目を終った。2日目は、8時30分から再開し機関紙コンタクトの表彰、国労会館などからの報告が行われ、経過の質疑に入り、拍手で承認され、小川良宏副委員長が決算報告、山川治監査員の監査報告で決算も承認された。続いて小川副委員長が組織検討委員会答申を提案し承認された。運動方針の討論に入った。討論では、職場実態、組織拡大の取り組み、安全問題などで14人が発言、中間答弁と書記長集約が行われ、方針を拍手で採決し確立。小林

副委員長が予算案を提案、承認され、スト権、票投票を行い出席代表議員37人全員の賛成でスト権も確立し昼食休憩に入った。昼食後、小澤選挙管理委員長から地方役員・委員が定数通りの立候補で、無投票の選出が報告され、新旧地方役員の挨拶が行われた。退任の齋藤委員長、阿部副委員長、高橋会計監査員の労を拍手で労った。最後に小野寺子婦人部長が大会宣言を読み上げ提案・採択し、議長団が退任、小林副委員長の閉会挨拶後、佐々木新委員長のもと団結ガバローで大会を終了した。

方針討論では、14人が発言した。要旨は次の通り。
◇吉田一久副議長(一関運輸分会)
▽一関市議選、千葉信吉当選。皆さんの支援・協力に感謝したい。
▽組織拡大、若手社員と接点

はできつつある。分会として呼びかけた。
▽検査合理化後、労働条件厳しい、休みがないとか、改善の取り組みを進めてほしい。
▽一関駅、被災地、平泉世界遺産の関係で混雑する中、MV導入で要員減、厳しい。
◎佐々木睦美副議長

はできつつある。分会として呼びかけた。
▽検査合理化後、労働条件厳しい、休みがないとか、改善の取り組みを進めてほしい。
▽一関駅、被災地、平泉世界遺産の関係で混雑する中、MV導入で要員減、厳しい。
◎佐々木睦美副議長

はできつつある。分会として呼びかけた。
▽検査合理化後、労働条件厳しい、休みがないとか、改善の取り組みを進めてほしい。
▽一関駅、被災地、平泉世界遺産の関係で混雑する中、MV導入で要員減、厳しい。
◎佐々木睦美副議長

方針討論 職場の厳しい実態、組織拡大 貨物問題、安全問題など議論 14人が発言

【北上施設分会】
▽新規採用者配属後2、3年国労とも話をするようになってきている。
▽国労は差別されるという意識が拭ききれない。拡大の難しさの一因に。
◎小野寺勝則特別代表議員(一関地区協代表)
▽千葉信吉選挙の支援に感謝したい。30位当選、感激もあつたが、終わったというのが実感だった。
◎館川幸也代表議員(盛岡貨物分会)
▽貨物会社、14年ベアゼロ、夏季手当も最低、家族も含め将来に不安、55歳30%カットはローンや子どもの進学など厳しい。ストライキで闘うよう本部へ要請してほしい。
▽貨物会社は構造的矛盾の改善なしに、安全・安定輸送は無理だ。国の責任での再生の闘いの強化が必要。客・貨一体の闘いの強化を。
◎小原典昭代表議員(青森駅連合分会)
▽組織拡大、役員のみでなく、組合員一体となった取り組みが必要だ。
▽主務職に飛び級試験で合格(次のページに続く)

【北上施設分会】
▽新規採用者配属後2、3年国労とも話をするようになってきている。
▽国労は差別されるという意識が拭ききれない。拡大の難しさの一因に。
◎小野寺勝則特別代表議員(一関地区協代表)
▽千葉信吉選挙の支援に感謝したい。30位当選、感激もあつたが、終わったというのが実感だった。
◎館川幸也代表議員(盛岡貨物分会)
▽貨物会社、14年ベアゼロ、夏季手当も最低、家族も含め将来に不安、55歳30%カットはローンや子どもの進学など厳しい。ストライキで闘うよう本部へ要請してほしい。
▽貨物会社は構造的矛盾の改善なしに、安全・安定輸送は無理だ。国の責任での再生の闘いの強化が必要。客・貨一体の闘いの強化を。
◎小原典昭代表議員(青森駅連合分会)
▽組織拡大、役員のみでなく、組合員一体となった取り組みが必要だ。
▽主務職に飛び級試験で合格(次のページに続く)



斎藤委員長あいさつ(要旨)

7月の参議院議員選挙、昨年末の衆議院議員選挙では自民党が改選議席を大きく伸ばした。安倍首相は改選や集団的自衛権の行使・TPP参加・消費税増税・原発推進など国民の思いとは掛け離れた政治を進めている。消費税増税は来年4月から8パーセントと

し、復興特別法人税の廃止、企業減税も継続されるなど社会保障を切り下げ、大企業を優遇する政策が更に進められている。大企業の内部留保は300兆円を超えると言われ今後優遇税制を続けても設備投資や労働者の賃金に回るとは考えられず景気回復には疑問である。
東日本大震災から2年7ヶ月が過ぎた。被災者の生活再建は遅く、仮設住宅での生活が解消されていない。東京電力福島第1原発では今なお放射能汚染水処理の解決も先

が見えない。今こそ日本のエネルギー政策の転換を強く訴える。
一関市議選で「千葉信吉さん」が当選を勝ち取った。一関地区の共闘・組合員をはじめ多くの支持者に感謝と御礼を申し上げる。一関市が抱える多くの課題解決に向け、活躍することを期待する。
JR発足以来26年が経過し、職場環境も大きく変化した。外注化が進む中、最近の輸送障害の多さ、JRの安全・安定輸送の確立に対し、大きな不安を感じる。技術・技能の継承や若い社員の人材育成について重要な時期にきている。引き続き「仕事・安全総点検

運動」に取り組んでいく。JR北海道の事故については、本部を中心に事故原因の究明と労使の枠を超えた会社の安全風土確立や信頼回復に全力を注いでいく。また、貨物会社の賃金抑制問題も課題解決に取り組んでいく。
労働協約の改善と同時に組織拡大は、全組合員が共通認識している最重要課題である。一括和解後、助役・主務職試験に合格する組合員も出てきている。今こそ全社員が公平・公正に扱われ、なんでも話せる明るい職場を作るため組織拡大に奮闘していこう。闘いの先頭に立つ決意を述べ挨拶とする。

「おもてなし」という独特な慣用語が流行っている。最近披露宴でも、この5文字を言い換え独特なフレーズでスピーチをしている方もみだ。五輪招致委員会メンバーによる「おもてなし」を含んだ英語・フランス語によるプレゼンは記憶に新しく、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を勝ち取った。一方で反五輪を唱える「お・こ・と・わり」団体もある。その理由は、「震災の復興が先」「福島第1原発の終息が見えない」「4年に1度の感動より日々の生活保障」など。確かに安倍首相のIOC総会で福島第1原発の「放射能汚染水はコントロールされている」発言は疑問が残る。まして福島県民はどのように捉えたのだろうか。
▽アベノミクス効果は少なくても労働者目線では感じられない。今、五輪景気が経済を潤し、震災復興加速させ労働者の賃金向上につながるのか疑問だ。1964年東京オリピック開催に向け日本は、東海道新幹線の開業・東京モノレール首都高速など交通・社会インフラが整備され、戦後からの復興となり経済発展の起爆剤になったとされる。経済専門家によれば「1964年当時と2020年では日本経済の成熟度は大きな違いがある」と単純に推測はできないようだ。
▽くしくも国鉄入社最終(早生まれ)組は1964年、前回の東京オリピック開催と同じ生まれだ。2020年には56才となる。はたして景気は回復しているだろうか。不安は多々あるが日本が間違った方向に向かないよう、今のうちに安倍政権を「お・い・つ・め・る」必要がある(孝)



左から沢田、佐々木(政)、佐々木(力)、小林、菊池、小笠原、山川の新役員(及川、鈴木は欠席)

地方役員改選

佐々木委員長はじめ 新役員9人を選出

■齋藤・阿部・高橋氏が退任■

今大会は、役員改選期をむかえ、齋藤庄司執行委員長、阿部一久執行副委員長、高橋亮一會計監査員が退任した。新たに佐々木力執行委員長以下、次の新役員が選出された。役員任期は2年。

- 【新役員体制】
- ◎執行委員長(専従) 佐々木 力(新任)
- ◎執行副委員長(専従) 小林 良宏(再任)
- ◎執行委員(専従) 佐々木 政志(新任)
- ◎書記長(専従) 沢田 光広(新任)
- ◎執行委員(専従) 菊池 要悦(再任)
- ◎執行委員(専従) 及川 孝(新任)
- ◎會計監査員(専従) 山川 治(再任)
- ◎執行委員(専従) 小笠原 勝豊(再任)
- ◎執行委員(専従) 鈴木 清正(新任)



吉田一久代議員 (一関運輸分会)



館川幸也代議員 (盛岡貨物分会)



留場義継代議員 (宮古地域分会)

「前のページから続く」の組合員も。資格のある人は試験を受験していくべきだ。◎笹山賀代議員 (八戸工務分会)

◎留場義継代議員 (宮古地域分会) △岩泉線、マスコミ報道によると代替輸送、廃止も検討もあつたが? △山田線問題、沿線市町アンケートが実施される。我々の職場問題もある。どうとらえているのか? △宮古市議会で「JR山田線 鉄道早期復旧及び鉄道復旧に係る関係法令の整備を求める意見書」を採択している。我々にとつていいことと思う。

△折戸俊幸代議員 (盛岡駅連合分会) △執行委員会1回、並行し組織対策も議論している。△お問い合わせセンター10年以上の組合員も、通勤事情の悪い人も。ぜひ解決が必要、徴収かと思う。

△執行委員長(専従) 佐々木 力(新任) △執行副委員長(専従) 小林 良宏(再任) △執行委員(専従) 佐々木 政志(新任) △書記長(専従) 沢田 光広(新任) △執行委員(専従) 菊池 要悦(再任) △執行委員(専従) 及川 孝(新任) △會計監査員(専従) 山川 治(再任) △執行委員(専従) 小笠原 勝豊(再任) △執行委員(専従) 鈴木 清正(新任)

△JR北海道問題、東日本本部運輸協議会としても交流の取り組みを予定している。◎中嶋宏代議員 (青森運輸分会) △新幹線開業により青森車両センター業務の大幅減が予想される。出向先会社も同様、組合員の大半が50歳以上で将来に不安がある。△エルダー社員、慣れない仕事、危険な作業や仕事がつく退職したいとの声もある。

△今年も貨物協議会で19回目の団結キャンプ開催、今後も続けたい。地本・支部などの支援に感謝する。◎田端文明代議員 (八戸運輸分会) △1人の組織拡大ができた。月1回の執行委員会・組織対

してほしい。◎組織対策費問題、徴収の意見は伝えるが中央委員会で決定になる。◎組織体制の在り方は意見交換も必要と考えている。◎名称変更については、東日本本部の会議で報告していく。◎新幹線開業に伴う問題、

直前にならないと資料は出てこないが、支部・分会などと相談し雇用不安のないよう取り組む。◎岩泉線問題、会社からは何も提案がないが、地元は検討の余地?となっている。◎山田線のアンケート問題、推移を見守りたい。宮古市議

会決議は活用したい。◎お問い合わせセンター10周年問題、エルダー職場との相談していく。◎東北ロジステックの問題、事故を起こさないためにも、本人がしっかり意思表示した取り組みをしてほしい。

2013年度の地方委員は次の13人が選出された。

地方委員 13人を選出

- ◎盛岡支部・8人
- 近藤 信博(盛岡駅連合分会)
- 伊藤 淳(盛岡運輸分会)
- 吉田 雅美(盛岡電気分会)
- 館川 幸也(盛岡貨物分会)
- 中村 弘之(北上駅連合分会)
- 佐々木 喜一(北上工務分会)
- 吉田 一久(一関運輸分会)
- 留場 義継(宮古地域分会)
- △青森支部・5人
- 野坂 均(青森運輸分会)
- 中嶋 宏(青森運輸分会)
- 工藤 誠(野辺地三沢分会)
- 笹山 賀(八戸工務分会)
- 加藤 寿(八戸貨物分会)

活動の報告と議員団会議

地方議員団6人参加



「挨拶する左から星、千葉、阿部の3議員」

地方議員団の阿部一男議員、星敦子議員、10月29日に当選した千葉信吉議員と山崎新議員の千葉議員は、選挙へのお礼と今後の決意を述べた。なお、木村幸弘・久保孝喜両議員は議会のため夕方の議員団会議から参加した。齋藤憲雄議員は議院視察のため欠席した。

道夫議員が大会に参加し日頃の活動の報告を行った。新議員の千葉議員は、選挙へのお礼と今後の決意を述べた。なお、木村幸弘・久保孝喜両議員は議会のため夕方の議員団会議から参加した。齋藤憲雄議員は議院視察のため欠席した。

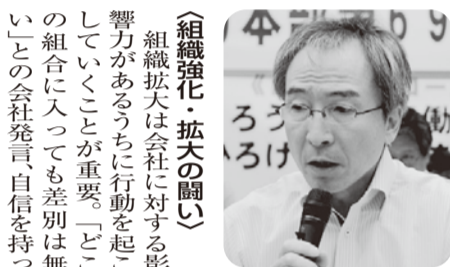
「可動橋」が 最優秀賞

大会では2012年度の機関紙コンクールの表彰も行われた。

- ◎最優秀賞 「可動橋」 (青森駅連合分会)
- ◎優秀賞 「盛岡電気」 (盛岡電気分会)
- ◎優秀賞 「Renketu」 (盛岡貨物分会)

組織の拡大に大きなうねりを作ろう

佐々木書記長 集約(要旨)



「組織強化・拡大の闘い」 組織拡大は会社に対する影響力があるうちに行動を起こしていくことが重要。「どこ」の組合に入っても差別は無い」との会社発言、自信を持つ

て堂々と取り組みを行っていく。「スピードとタイム」から「スピードアップ」へ運動を進めよう。組織対策費は継続して徴収するよう本部に求めていく。

「労働条件に関する協約」について公平・公正な運用、改善・改定に向け取り組みを強化していく。エルダー・嘱託社員の労働条件改善に向け、分会や職協と連携して実態把握に努めていく。来春闘は消費税率が8%に引き上げられる中での闘いとなる。貨物会

見られる一方で、職場によっては不公平感の声もある。引き続き解消に向け取り組んでいきたい。「新賃金・人事制度」について公平・公正な運用、改善・改定に向け取り組みを強化していく。エルダー・嘱託社員の労働条件改善に向け、分会や職協と連携して実態把握に努めていく。来春闘は消費税率が8%に引き上げられる中での闘いとなる。貨物会

社の「賃金削減」を許さず、ベアを求めて闘っていく。◎公共交通を守る闘いとJR線の早期復旧に向けた闘い ◎青い森鉄道では雪害時の対応や異常時の案内で苦情が寄せられ、若手社員の技術継承や人材育成が大きな課題であり、安全に対する投資の必要性が経営環境が必要である。また、北海道新幹線開業後の並行在来線のあり方も含め、国労の政策提言を実現するための運動を進めていく。岩泉線のバスによる代行輸送、気仙沼線・大船渡線のBRT、山田線の「鉄路による復旧」について関係団体と連携し、災害に強い鉄道を目指していく。

「政治闘争強化の闘い」 選挙戦で圧勝した安倍政権は「集団自衛権行使の容認」「自衛隊への海兵隊機能付与」「武器輸出三原則の変更」「国家安全保障会議の創設」「秘密保護法案」の成立を目指し、戦争する国へと憲法改正に向かっていく。来年の花巻・青森市議員選挙をしっかりと闘い、引き続き政党・共闘組織・市民団体と連携し安全で平和な社会の実現と未来を守るための運動を強化する。最後に向かう1年間、各分会から組織拡大の大きなうねりをつくって頂くことを再度お願いし集約とする。